

◆技術シーズから新規事業の創出を目指す人
◆新規事業・戦略企画・マーケティング担当者

に

おすすめの
プログラム

大学発技術を用いた *Lean Launch Pad*

シリコンバレー流

募集締切：9月8日(金)

参加者
募集
定員：16名

スタートアップ手法を学ぶ実践型講座

「リーンローンチパッドプログラム」

スタンフォード大学発！実践型 事業創出プログラムの 阪大版



優れた研究成果から事業を創る「リーンローンチパッドプログラム」

最近、日本では、研究成果から事業を創る力が不足している！

本講座では実際の顧客候補企業とマンツーマンでフェイス・ツー・フェイスのインタビュー機会を持つことで『ビジネスモデル・キャンパス』と『リーンスタートアップ』という新規事業の立ち上げを体系的に行うための新定番手法を実際の研究成果を題材として実践的に学び、短期間で「研究成果から事業を創る力」を鍛えます。特に、今後、科学技術を商業化する実践スキルを学びたい方におすすめです。

大阪大学の
研究成果を
題材に！

ビジネス
モデルを
デザイン！

文系・理系
混合チームで
ブラッシュアップ！

9月23日(土)10時～9月24日(日)17時

会場：ホテルコスモスクエア国際交流センター

合宿

参加料

- 学生(他大学を含む)および大阪大学教職員：無料
- 他大学・公的研究機関の教職員：3万円
- その他：6万円

10月 7日(土)10～17時 10月21日(土)13～17時

11月19日(日)10～17時 12月17日(日)13～17時

会場：大阪大学 吹田キャンパス テクノアライアンス棟

主催：大阪大学 産学共創本部 イノベーション共創部門

申込方法：WEBサイトからエントリーしてください

<https://jp.surveymonkey.com/r/SPRP5NR>



リーンローンチパッドの特長

・**ビジネスプランをどう実現するか?**：研究成果の事業化の講座というビジネスプランの書き方や知財戦略の構築法を学ぶばかりでしたが、プランや知財戦略を美しく描いても「絵に描いた餅」では意味がありません。本講座ではビジネスプランや戦略の作成方法ではなく、どうやってそれを実現するかを学びます。技術シーズによる新規事業の創出を目指す方にとって、事業化プランニングの検討に活かすことができます。

・**シリコンバレー発の新たな事業創造プログラム**：本講座は、米国の研究成果を事業化するための教育プログラム『Innovation Corp (I-Corps、アイコーと呼びます)』やスタンフォード大学などで起業家教育講座として実施されている『The Lean Launch Pad』を日本式にアレンジしたものです。日本にいながらシリコンバレーの最先端の新規事業創造手法を学ぶことができます。また、本場のリーンローンチパッドでは全10回の講座となっていますが、本講座では重要な部分にフォーカスして全5回とコンパクトにまとめているため本業への影響を最小限に受講することができます。

・**仕事では得られない経験を積める貴重な機会**：本講座では題材として、大阪大学から将来的な事業化も期待される優れた研究成果を提供します。一つの対象技術について文系・理系を含む複数の方がチームを組んで取り組みます。実際の研究成果を題材としてビジネスモデルをデザインし、そのブラッシュアップを図りながら、事業を立ち上げるための手法を学びます。多くの社会人にとって、このようなゼロからの事業創造を職務で経験することは非常に稀です。講座ではビジネスモデルのブラッシュアップのために潜在顧客へのヒヤリングによる検証が毎回宿題として課されるなど実践的でタフな内容になっていますが、やりとげることで研究成果から事業を創造するという貴重な経験を積むことができます。

・**事業化支援**：インタビュー先の紹介を支援してくれる業界アドバイザーや、マンツーマンでビジネスモデルのブラッシュアップを支援してくれるメンターが提供されます。事業創造の経験のない方でも、このようなリソースを活用することで、すぐに実践に慣れることができます。

・**TEC及びG-TECの姉妹プログラム**：TEC(Technology Entrepreneurship & Commercialization Program)及びG-TEC(Global Technology Entrepreneurship and Commercialization)で技術の事業性アセスメントを学んだ方は、アセスメント後の実際の事業化の手法を学べます。

開催日時・カリキュラム

日時	カリキュラム概要
第1回：2017年9月23日(土)10:00～ 2017年9月24日(日)17:00 (一泊二日の合宿形式)	・オリエンテーション ・基本ツールの講義(ビジネスモデルキャンパス、リーンスタートアップ、顧客開発モデル) ・初期のビジネスモデル仮説の構築 ・顧客インタビューの仕方を学ぶ
第2回：2017年10月7日(土)10:00～17:00	・検証結果の中間発表 ・ミニマムバイアブルプロダクトの概念の理解と作成
第3回：2017年10月21日(土)13:00～17:00	・検証結果の中間発表 ・マネタイズ方法、スケールのさせ方を学ぶ
第4回：2017年11月19日(日)10:00～17:00	・検証結果中間発表 ・リーン式事業計画の作り方を学び実際に作る
第5回：2017年12月17日(日)13:00～17:00	・最終発表

開催場所

第1回：ホテルコスモスクエア国際交流センター
第2回以降：大阪大学 吹田キャンパス テクノライアンス棟

参加料

学生(他大学を含む)および大阪大学の教職員：無料
他大学・公的研究機関等の教職員：3万円、その他：6万円

参加申込・選考・免責事項

- ・お申込は下記のWEBサイトからエントリーしてください。
<https://jp.surveymonkey.com/r/SPRP5NR>
- ・エントリーによる選考を通じて受講者を決定し、2017年9月13日(水)頃までに受講の可否を連絡します。
- ・天災等やむを得ない事情により、一部のコースまたは全コースが開催されない場合があります。
- ・原則としてコースの全日程に参加ください。事情により一部の開講日に出席できない場合は、事前に担当者に相談下さい。
- ・受講決定後、守秘に関する誓約書を提出いただきます。
- ・受講を希望する阪大生は、申し込み前に指導教員の了承を得てください。
- ・外部資金で雇用されている教職員が受講を希望する場合は、本研修の受講が可能かについて、受講申し込み前に受講者がそれぞれの部局に確認ください。雇用形態によっては、給与が支給されない等の規定がある場合があります。

問い合わせ

大阪大学 産学共創本部 イノベーション共創部門(担当：片木)
TEL：06-6879-4875 Email：LLP2017@uic.osaka-u.ac.jp
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号
大阪大学テクノライアンス棟 A201
アクセス：<http://www.uic.osaka-u.ac.jp/access/>

講師

堤 孝志 ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社代表取締役
総合商社、ベンチャーキャピタル勤務を経て2014年に当社設立。20年超に渡る新規事業創造やベンチャー投資の経験・ノウハウを生かし、スタートアップから大企業の新規事業に至るまで幅広く事業創造の支援と投資活動を行う。傍ら、「顧客開発モデル」や「リーンスタートアップ」を中心とした講演や、その実践講座を精力的に行っている。東京理科大学工学部卒。McGill大学経営大学院修了。訳書に『アントレプレナーの教科書』『スタートアップ・マニュアル』(翔泳社)、『クリーンテック革命』(ファーストプレス)がある。

飯野 将人 ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社代表取締役
大手金融機関、米系コングロマリットといった大企業勤務の後、日米複数のスタートアップの経営に参画。その後2003年から2012年まで国内VCにてベンチャー投資に取り組む。2012年4月より西海岸発のハイテクベンチャー、ナント・モバイル取締役副社長に就任。堤と共に当社を設立し共同代表も務める。傍ら、「顧客開発モデル」や「リーンスタートアップ」を中心とした講演や、その実践講座を精力的に行っている。東京大学法学部卒。米国ハーバード大学経営大学院修了。訳書に『スタートアップ・マニュアル』(翔泳社)、『クリーンテック革命』(ファーストプレス)がある。

修了生の声

・事業計画をきっちり策定してから順序立てて新規事業を立ち上げるのがセオリーだと思っていましたが、そうではなく、仮説検証を繰り返しながら開発するリーン手法の概念が新鮮でした。
・技術シーズから、製品、顧客に至るまでの紆余曲折をリアルに学べて良かった。大学の技術がそのまま市場に出ることはないで今回のような「真のユーザーは誰なんだ」、「何が本当に必要とされているんだ」というところを突き詰めていく具体的な方法が学べて良かった。

最終発表会に出たVC、企業新規事業担当者の声

- ・インタビュー、ヒヤリングの充実が驚いた。
- ・この報告内容まで落とし込めたことは、社内に報告したいほど素晴らしい。